

# とよきた

やる気 がんばり 思いやり  
学校だより 第3号 R7.6.23  
宇都宮市立豊郷北小学校 市川 文人



ホームページ QRコード  
が-版でご覧になれます

## 「2025 とよきた運動会」を開催！

5月24日(土)、豊北小運動会が盛大に開催されました。当日まで、6年生は、小学校生活最後の運動会を最高の



舞台にしようと、素晴らしいリーダーシップを発揮しながら、見事にチームをまとめ上げてきました。また、下級生も、6年生の熱い思いにしっかりと呼吸を合わせ、全集中・全力で練習を重ねてきました。

そして、迎えた本番！子供たちは、「仲間と全力で！一瞬が忘れられない宝物」のスローガン通り、仲間と共に、一瞬一瞬にすべてを出し切りました。また、今年は、高学年の団体種目「竹取物語」が復活し、「騎馬戦」と共に白熱の戦いを展開しました。上・下学年のオリジナルダンスでは、渾身の舞と輝く笑顔に感動が広がりました。「選抜玉入れ」では、本校出身の中学生や保護者の皆様に多数参加していただき、大いに盛り上がりました。

結果は、白組が圧倒的なパワーを生かし三年ぶりの優勝を果たしましたが、紅組も大いに健闘しました。勝っても負けても精一杯戦い抜き、宝物となる思い出を手にした子供たちの表情は清々しく、大成功の運動会となりました。来賓の皆様・保護者の皆様、そして地域の皆様から盛んな応援をいただきました。また、PTAの皆様、「北のおやじ会」の皆様のご協力も、大きな支えとなりました。



新たな歴史を刻んだ「2025 とよきた運動会」を明日への希望に変え、新たな挑戦を開始してまいります！



## サツマイモ「苗植え」

6月4日(水)、サツマイモの苗植えを、兄弟班(3・4年生, 2・5年生, 1・6年生)で行いました。場所は、一昨年、子供たちによって命名され、もうすっかりお馴染みの「にこにこ畑」です。

まずは、植え方を確認。担当教諭の説明をよく聞き、「苗を寝せるように植え、優しく土をかけてあげることを確かめました。

いよいよ、植え付け開始！子供たちは、教わった通り、一本一本丁寧に苗を植えていました。また、お兄さん・お姉さんは、困っている下級生に優しく植え方を教えてあげていました。

作業中の子供たちに「どんな願いを込めて植えたの？」と聞くと、「おいしいおイモに育ててね。」「暑さに負けないで育ててね。」等の答えが返ってきました。子供たちそれぞれの思いを乗せて植えた苗がぐんぐん育ち、秋には給食で美味しくいただけるよう、除草作業等の手入れを定期的に行いたいと思います。

下準備として、畑を耕し、畝立て・マルチシート張りを行ってくださった駒場様、齋藤様、本当にありがとうございました。



## 新任教員紹介

6月2日(月)、「学力向上担当」として山村みどり教諭が着任いたしました。

山村教諭は、都内の音楽大学を卒業し、ピアノ演奏が堪能な教員です。

本校では、3～6年生の算数の習熟度別指導を担当。担任と連携しながら、個に応じたきめ細かな指導を目指してまいります。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



## 寿 おめでとうございます！

先日、さくら連絡網でお知らせしましたように、6月11日(水)、2年担任の石川くるみ教諭が、晴れて結婚いたしました。誠にありがとうございます！

結婚に伴い、姓が「高堂(たかどう)」に変わり、心機一転、「高堂くるみ」として、新たな一歩を踏み出しています。

本人も「仕事と家庭の両立を目指して頑張ります。」と述べ、意欲満々です。

今後も、皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。



## ICT 支援員交代

地域学校園間の人事異動により、新村梨乃 ICT 支援員が、6月から横川地域学校園に異動となりました。新村支援員は、2年間、豊郷地域学校園の担当として勤務し、本校では、児童のタブレット操作やプログラミング教育への支援、教職員への ICT 活用時のアドバイス等、多岐に渡り活躍。勤務最終日には、外トイレに潜んでいたヘビ退治までしてくれました。本当にお世話になりました。

代わって柘木亮真 ICT 支援員が本学校園での勤務を開始。(星が丘地域学校園より異動)授業中はもちろん、休み時間になっても丁寧にタブレットの操作方法を子供たちに教えている姿が見られ、ありがたく思います。本校には、毎週一回の割合で来ていただく予定です。よろしくをお願いいたします。



## タブレットの持ち帰り

先日、タブレットの持ち帰りについて教職員で話し合い、以下、二点の理由から、今後は、宿題としてタブレットを使用する場合や長期休業期間等、必要に応じてタブレットを持ち帰ることといたしました。

- ① 登下校の際、児童の健康面を考えると、タブレットの重さが負担となっているため。
- ② 常にタブレットの充電が十分な状態を保つため。

これに伴い、先日のさくら連絡網による通知で、充電器の持参をお願いいたしました。保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



各学級の充電箱

## はつらつと教育実習

6月2日(月)～13日(金)の二週間、白鷗大学4年生の手塚愛梨さんが本校で教育実習を行いました。手塚さんは平成27年度の本校の卒業生で、当時はスポーツ少年団バレーボール部に所属し、中心選手として活躍。以来、今でもバレーボールを続けています。

5年1組の田中教諭の指導のもと実習を開始した手塚さんは、初日から子供たちと思いつき遊び、翌朝は、積極的にあいさつ運動に参加。子供たちとの距離があつという間に縮まりました。

また、日々の授業づくり、教材研究にも真剣に取り組み、12日(木)の研究授業では、手作りの教材を駆使しながら授業を展開。子供たちは四角形の内角の和の決まりが十分に理解できました。そして、最終日は、涙涙のお別れ会。子供たちと心を通わせながら教育実習を終えました。

近い将来、今度は手塚先生として教育現場に戻ってきてくれることを期待しています。



## ブロック4連覇ならず… ～ 市P連ソフトボール大会 ～

6月8日(日)に「市P連ソフトボール大会」が、鬼怒グリーンパーク白沢グラウンドで開催されました。天気は曇り空でしたが、豊北のお父さんたちは雲を吹き飛ばすパワーで試合に臨みました。

豊北小は2回戦からの登場です。試合が始まると、終始豊北ペース。大会No1を誇る佐藤投手の力投と切れ目のない打線がガッチリ噛み合い、12対5で勝利しました。また、試合中、豊北のお父さんたちは、一球一球に集中しよく声を掛け合います。冗談を交えたやり取りが和気藹々とした雰囲気を作り、一人一人が持てる力を存分に発揮しました。また、お母さんや子供たち、教職員の熱い声援にも勇気をもらいました。



決勝の相手は姿川第二小です。強力打線を抑えリードを奪う展開が続きましたが、最終回に逆転を許し、8対9の1点差で惜敗。ブロック4連覇はなりませんでしたが、それでも、精一杯戦い抜いたお父さんたちの表情は清々しく、来年の雪辱を誓い合いました。

前日の準備から、当日の運営に至るまで、会場校(ホスト校)としての役目を十分に果たしてくださった佐藤委員長様を始め保体委員会の皆様、PTA 役員の皆様、おやじ会の皆様、関係者の皆様、大変お世話になりました。

